

ニ ュ ー ス レ タ ー

# 明治大学史

  
Vol.5  
25.Feb.2009

Center for the History of Meiji University Newsletter

ニュース・ヘッドライン

特集 大学アーカイヴズって何？

センター業務記録

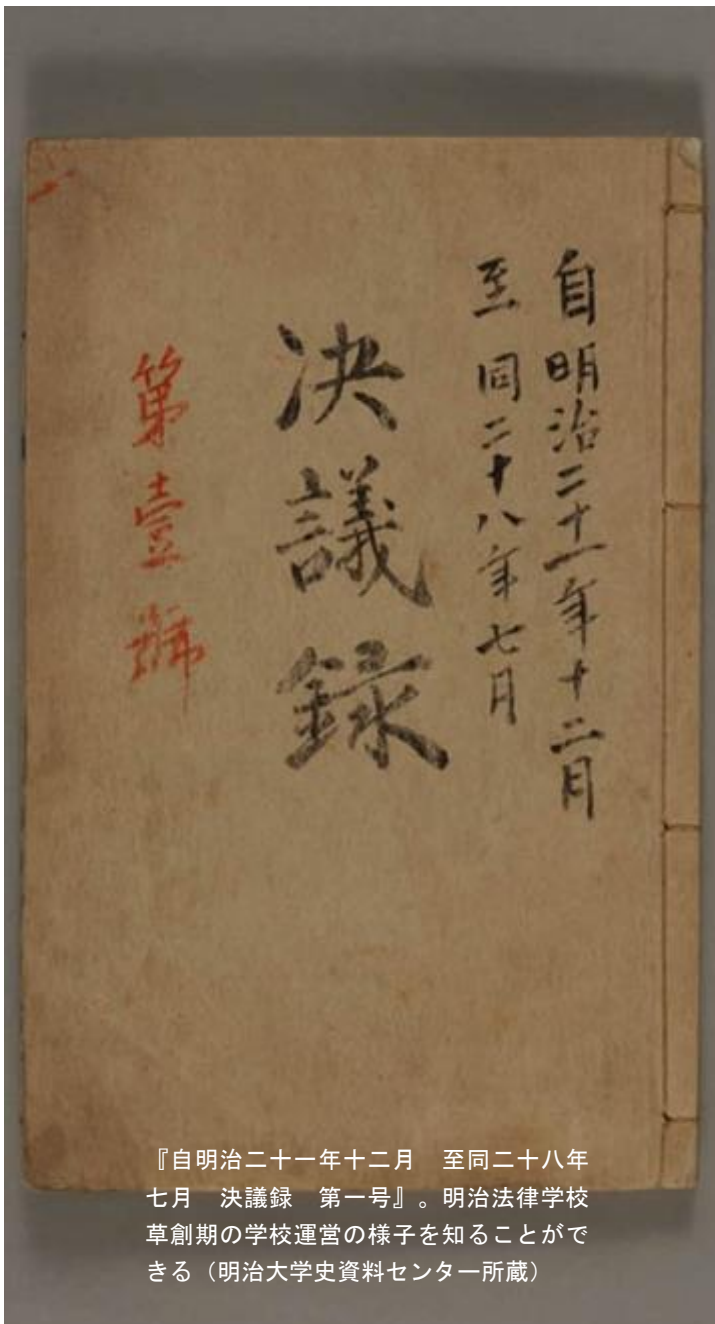
〈2008年4月～9月〉

特集 大学アーカイヴズって何？

「アーカイヴズ」の意味

「アーカイヴズ (archives)」とは何でしょうか？最近徐々に使われ始めましたが、まだ聞き慣れない言葉かもしれません。日本ではアーカイヴズとは文書・電子記録など各種の「保存記録」や、そうした記録を収集・保存・公開するための機関を示す場合に使われます。組織としては文書館・史料館・文庫にあたるものです。

機関としてのアーカイヴズは、すでに欧米では定着した存在となっています。一般的に官公庁や教会、会社組織などには、中世からアーカイヴズが設置されています。そして当該機関が作成したさまざまな記録や、機関に関係する歴史資料を収集・保存し、広く利用に供する役割を果たしています。



『自明治二十一年十二月 至同二十八年七月 決議録 第一号』。明治法律学校草創期の学校運営の様子を知ることができる (明治大学史資料センター所蔵)

### 大学アーカイヴズの歴史と日本の大学アーカイヴズ

大学も組織であることは官公庁や会社と同様です。多くの部署で毎日様々な文書（各種規定・申請・依頼・照会・通知・回答・起案・議事録など）が作成・保管されています。

それらの記録を収集・整理・保存・公開するためヨーロッパでは 19 世紀の半ばから、そしてアメリカでは第 2 次世界大戦以後、大学内にいわゆる「大学アーカイヴズ」が置かれるようになりました。現在では欧米のほとんどの大学に設けられています。

欧米に比べ、日本では大学アーカイヴズの設置は遅れていました。しかし大学で作成された文書や、卒業生・教職員・その他関係者の資料を保存・公開する施設の重要性が認識されるようになった 2000 年代以降を中心に、国立・私立の主要大学で、大学アーカイヴズが置かれるようになりました。

国立大学のおもだったアーカイヴズには、東京大学史料室（1987 年設置。以下設置年）、京都大学大学文書館（2000 年）、東北大学史料館（2000 年）、広島大学文書館



京都大学大学文書館

（2004 年）、名古屋大学大学文書資料室（2004 年）、九州大学・大学文書館（2005 年）、北海道大学文書館（2005 年）などを挙げることができます。

国立大学アーカイヴズと比べると、私立大学のそれは数も多く、形態も様々です。代表的なアーカイヴズとしては、慶應義塾福澤研究センター（1983 年設置）、早稲田大学大学史資料センター（1998 年）、立教学院史資料センター（2000 年）、同志社大学社史資料センター（2004 年）などがあります。

明治大学では当大学史資料センター（2003 年設置）が資料の収集・整理・保存・公開にあたっています。

### 記念史編纂から大学アーカイヴズへ

日本では 1990 年代に多くの大学で、自らの大学の歴史書を編纂する事業が行われたことが、大学アーカイヴズの設置を後押しすることになりました。大学創立 100 周年などの節目の年には様々な記念行事が行われます。その際に、『〇〇大学百年史』といった記念史の刊行事業が目玉として企画されたのです。

大学の歴史を編むためには、大学が創立されて現在までに蓄積してきた文書・物品・写真など様々な資料が必要になってきます。

しかしそれらの資料は学内の各部署に散在していたり、OB の家に保存されていたりとバラバラにしまわれています。

記念史編纂にあたる人々はそれらを少しずつ収集・整理・分析し、創立以来の大学の営みを次第に浮かび上がらせていきました。その成果として各大学で記念史が次々と編纂・刊行されることとなったのです。それがピークを迎えた時期がちょうど 1990 年代でした。

こうして各大学における記念史編纂事業は続々と完了しましたが、それと同時にいままで収集した資料の扱いが問題になってきました。記念史の編纂は、あくまで節目の年に行



#### 『明治大学百年史』、各種記念史、紀要など

われる時限的なものです。記念史の完結とともに、編纂にあっていた委員会や事務局は解散します。このままにしておけば、膨大な費用や手間をかけて収集した資料が散逸することになってしまいます。

集められた資料は創立以来の大学組織の営みを知る上できわめて貴重な情報の宝庫です。そこで、編纂で得られた資料・情報の散逸を防ぎ、保存をするとともに、以降も恒常的に大学の営みに関する資料の収集・整理を続け、利用に供していく大学アーカイヴズの設置を試みる動きが各大学で広がっていきました。

それがさきに紹介した多くの大学アーカイヴズの開設に結びついていったのです。

#### 大学アーカイヴズの収集する資料

大学アーカイヴズではどのような資料を収集しているのでしょうか。次に挙げてみましょう（寺崎昌男の分類による）。

- (1) 大学運営の歴史を示す公的文書、簿冊、事務記録、その他の文書
- (2) 大学内諸機関の議事録、意見書、答申、報告書等
- (3) 大学の刊行する年報、要覧、雑誌、新聞、広報紙誌等
- (4) 大学卒業生の卒業証書、アルバム、講義ノート、伝記、書簡等（とくに当該大学に関係するもの）
- (5) 学長、学部長、教授、職員等の私蔵する文書類のうち、とくに大学に関係するもの
- (6) 大学設立者、寄付者、卒業生などの関係者の文書
- (7) 大学の歴史を示す記章、門標、記念品、トロフィー、旗、制服、制帽、印璽等の物品

(8) 大学に関する写真、テープ、ビデオテープ、フィルム等

(9) 大学史に関する諸刊行文献

(10) 歴史的な意味を持つ実験器具、研究室製作品、報告書等

大学アーカイヴズにおいては、大学の営みに関する(1)から(6)までを主に扱いますが、視覚に訴える効果の高い(7)の物品類や(8)の写真やビデオなども収集の柱としています。

#### 大学アーカイヴズの現在・将来

現在までにいくつもの大学に大学アーカイヴズが設置されましたが、まだ問題は山積しています。とくに私立大学の場合、国立大学に比べて大学運営の歴史を示す公的文書、簿冊、事務記録の体系的・継続的な収集体制が立ち遅れた状況にあります。目下のところ早稲田大学をはじめとして、学内文書移管システムを構築する動きが進められていますが、それが軌道に乗るまではまだまだ時間がかかると考えられています。

明治大学史資料センターでも学内文書を継続的に収集することを今後の重点目標としています。まず、大学内の各事務部署でどのような文書を所蔵しているか調査を実施したのち、その目録作成・移管について検討することを考えています。

大学アーカイヴズは、当該大学資料の保存・公開を通して、学内外の教育・研究及び大学の文書管理に寄与し、これをもって社会に貢献する役割を担っています。また大学自身の歴史像を形成・発信する「知のアーカイヴズ」の拠点としても、重要な機能を果たすようになってくると考えられています。

その前提には、大学アーカイヴズ本来の役割である資料の地道な収集が必要なことは言うまでもありません。引き続き皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。



## ——大学史資料センター刊行物案内——

好評発売中!!



明治大学史資料センター監修 『布施辰治著作集』(全16巻 別巻1)  
ゆまに書房刊(03-5296-0491)

第Ⅰ期 全8巻揃定価 192,150円(税込)

第Ⅱ期 全8巻揃定価 177,450円(税込)



好評既刊!! 明治大学史資料センター編 『尾佐竹猛研究』

日本経済評論社刊(03-3230-1661)

4,725円(税込)

### 大学史資料センター利用の御案内

利用には事前連絡が必要です。その際、利用目的、来室日等について係までご相談下さい。

場 所 明治大学大学会館4階  
連 絡 先 〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1 電話 03-3296-4085 e-mail: history@mics.meiji.ac.jp  
開室時間 月～金 10:00～16:00 土 9:30～11:30  
閉 室 日 (1)日曜日 (2)国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日 (3)本大学の創立記念日(1月17日)及び創立記念祝日(11月1日) (4)夏期休業期間中においてセンター所長が指定する期間 (5)冬期休業期間(6)資料整理その他の理由のため臨時に閉室とする必要がある日

### 情報・資料のご提供について(お願い)

明治大学史に関する資料をひろく収集しております。どのようなことでも結構ですので、センター事務室(03-3296-4329・4085)までお気軽に御連絡ください。

頂いた情報・資料は整理して永く保存し、将来の明治大学史のために活用します。

ニュースレター 明治大学史 Vol.5 URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

発行日 2009年2月25日

編集・発行 明治大学史資料センター

住 所 〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1 明治大学大学会館4階

電 話 03-3296-4329・4085 F A X 03-3296-4086

E-m a i l history@mics.meiji.ac.jp